

Specifications 主要諸元

		RS 7 Sportback エアサスペンション装着車	RS 7 Sportback*1
型式		3AA-F2DJPA	3AA-F2DJPS
ステアリング位置		右/左	右/左
生産工場		ネッカーズルム	ネッカーズルム
寸法・重量	全長 (mm)	5,010	5,010
	全幅 (mm)	1,960	1,960
	全高 (mm)	1,415	1,415
	ホイールベース (mm)	2,925	2,925
	トレッド ：フロント (mm) ：リヤ (mm)	1,665 1,650	1,665 1,650
	最低地上高 (mm) (社内参考値)	140	140
	車輛重量 (kg)	2,170*2*3	2,170*2*3
	トランク容量 (リッター) VDA値	535	535
乗車定員 (名)	5	5	
駆動方式	quattro (4WD)	quattro (4WD)	
性能	最小回転半径 (m)	5.2	5.2
	WLTCモード (km/ℓ)*4	7.6	7.6
	市街地モード (km/ℓ)*4	5.0	5.0
	郊外モード (km/ℓ)*4	7.9	7.9
	高速道路モード (km/ℓ)*4	9.5	9.5
	燃費向上対策	筒内直接噴射 電子スロットルバルブコントロール 可変バルブタイミング マイルドハイブリッド 電動パワーステアリング アイドリングストップ装置 電子制御8速ティプトロニックトランスミッション	筒内直接噴射 電子スロットルバルブコントロール 可変バルブタイミング マイルドハイブリッド 電動パワーステアリング アイドリングストップ装置 電子制御8速ティプトロニックトランスミッション
	冷媒の種類 (GWP値) / 使用量	R-134a (1,430 *5) / 630 または R-1234yf (1 *5) / 575	R-134a (1,430 *5) / 630 または R-1234yf (1 *5) / 575

Specifications 主要諸元

		RS 7 Sportback エアサスペンション装着車	RS 7 Sportback*1	
エンジン	エンジン型式	DJP	DJP	
	総排気量 (cc)	3,996	3,996	
	エンジン種類	V型8気筒DOHCインタークーラー付バイターボ (1気筒=4バルブ)	V型8気筒DOHCインタークーラー付バイターボ (1気筒=4バルブ)	
	ボア×ストローク (mm)	86.0×86.0	86.0×86.0	
	圧縮比	10.1	10.1	
	燃料供給装置	電子式	電子式	
	最高出力 (kW (PS) / rpm)	441 (600) / 6,000-6,250	441 (600) / 6,000-6,250	
	最大トルク (Nm (kgm) / rpm)	800 (81.6) / 2,050-4,500	800 (81.6) / 2,050-4,500	
	燃料タンク容量 (リッター)	73	73	
	使用燃料	無鉛プレミアム	無鉛プレミアム	
諸装置	トランスミッション	電子制御8速ティプトロニックトランスミッション	電子制御8速ティプトロニックトランスミッション	
	1速	4.714	4.714	
	2速	3.143	3.143	
	3速	2.106	2.106	
	4速	1.667	1.667	
	5速	1.285	1.285	
	6速	1.000	1.000	
	7速	0.839	0.839	
	8速	0.667	0.667	
	後退	3.317	3.317	
	減速比	：前軸	3.197	3.197
		：後軸	3.205	3.205
	サスペンション	：フロント	ウィッシュボーン式	ウィッシュボーン式
		：リヤ	ウィッシュボーン式	ウィッシュボーン式
ステアリング	ラック・ピニオン式	ラック・ピニオン式		
ブレーキ	：フロント	ベンチレーテッドディスク	ベンチレーテッドディスク	
	：リヤ	ベンチレーテッドディスク	ベンチレーテッドディスク	
タイヤ	275/35R21	275/35R21		

*1 RS スポーツサスペンションプラス (DRC) 装着車の場合となります。

*2 パノラマサンルーフ装着車の場合+30kgとなります。

*3 セラミックブレーキ装着車の場合-30kgとなります。

*4 燃料消費率は国土交通省審査値。定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。

WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。

郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

*5 アウディジャパン株式会社は2023年までに、エアコンで使用するフロン冷媒の目標GWP*値150以下 (国内向け年間出荷台数の加重平均値) の達成を目指しています。*GWP (Global Warming Potential地球温暖化係数)